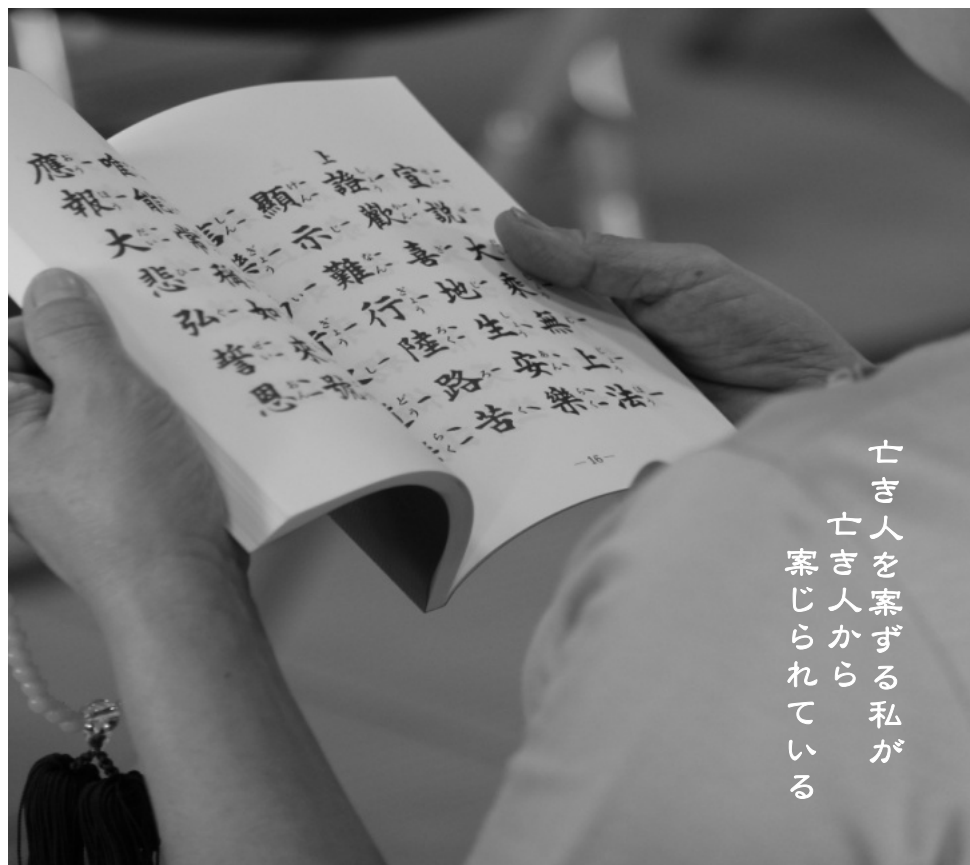


# 正法寺新聞

第4号



亡き人を案ずる私が  
亡き人から  
案じられている

2014年2月発行

## 目次

表紙の言葉・掲示板・正法寺近況	・・・一頁
お寺の行事から・販売コーナーより	・・・二頁
洗心婦人会会報	・・・三・四頁
住職が語る『正信偈』	・・・五頁
平成二五年 正法寺決算報告	・・・六頁
子育て記・今後の行事予定	・・・七頁
Q and A	・・・七頁

発行 真宗大谷派 正法寺

長崎県大村市杭出津2-708 0957-52-2247

こんにちは。早いもので住職継職法要より一年半が経とうとしております。まだまだ住職・坊守共々未熟な点多く、何かとご迷惑をお掛けしております。そんな中ではあります。今年、『正法寺キッズ』（お寺の子供会）の開設も予定しております。伝統の伝わりにくい世の中になりつつある昨今、少しでも自然に手を合わせる事の出来る子供たちを育てまいりたいと思えます。どうぞお誘い合わせご参加下さい。

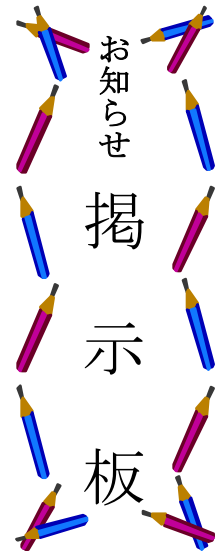
〈表紙の言葉〉

### 亡き人を案ずる私が

#### 亡き人から

#### 案じられている

われわれはつい亡き人を案じて手を合わせがちです。しかしひとたび、案じられているのは私の方だという視点を持った時、どのような気持ちの変化が起こってくるでしょうか。亡き人からの呼びかけに耳を傾け、今生きている自分自身の生き方を問うていくこと、亡き人の願いを訪ねていくこと、その事の大切さを教える言葉ではないでしょうか。



## 告知板

写経感覚を味わいながら

『正信偈』を学びませんか？

これまで婦人会のみで行っていた「書いて学ぶ親鸞のことば正信偈」の学習会をどなたでも参加出来る学習会に変更し開催いたします。最も身近である正信偈ですがじっくり学ぶ機会が余りありません。この機会に、男女問わず学びを共に進めたい方が集まり、今後のご聴聞にも繋がっていくような場にしていきたいと思えます。

毎月28日(12月を除く)13時30分〜

たくさんのご参加お待ちしております。

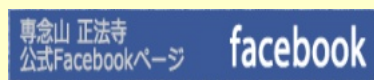
こちらが使用するテキストです。正信偈をなぞって書いて、学びます！

正法寺にて販売中↓



## 正法寺近況

正法寺のFacebookを開設しました。正法寺の近況等をお知らせしていきます。Facebookは若い方の方が使われておられるかと思しますので、家族・ご親戚などにもぜひご紹介下さいませ。アドレスは、<https://www.facebook.com/shoboji>



門徒会館にチェアを設置いたしました隣には販売コーナーもあり、雑誌等もおいています。三日参りの際や、法要時の休憩場所などに使って参りたいと思います。また、何かお尋ねなどありましたらこちらでお話をお伺いします。

お寺の行事から

今回は十二月に厳修しましたご正忌報恩講について、ご紹介いたします。この法要は宗祖親鸞聖人のご命日法要で、一年の中で最も重い法要です。その為お飾りも他の法要とは違っていません。またこの法要には夜のお勤めもございいます。夜のお勤めではぜんざいを振る舞い、法要後のひと時を過ごすのが伝統です。今回は二十代の方（江崎さん）にこの法要を経験していただき、感想をいただきました。若い方にも貴重な体験となることを知っていただけたらと思います。



→親鸞聖人のご一生を描いた掛け軸も一年に一度だけお飾りいたします。

←ご本尊も五具足という一番重い飾り付け。



夜の法要に参加して 江崎理紗[西本町]

初めての法要参加という事で身構えておりましたが、本堂の雰囲気は心を落ち着かせてくれました。お話がとてもわかりやすく、親鸞聖人様の、教えは、私たちの生活の中に通じるものなんだと感じました。せわしない日々の中、心休まるひと時でした。



正法寺門徒会館に販売コーナーを設けております。新聞では皆様に好評なものが紹介したいもの、の詳細を掲載してまいります。

販売コーナーより



はじめて読む

「親鸞聖人のご生涯」

誕生から入滅までの親鸞聖人のご生涯を、はじめて親鸞聖人について学ぶ方に向けてわかりやすく解説した入門書！

【二五〇円】

真宗の仏事

真宗大谷派の仏事を学ぶ基本書。お内仏の荘厳・おつとめ作法、定会法要（年中行事）まで、今さら聞けない仏事の基本を解説。お内仏にお給仕をすることの意義、私たちに願われていることを共に考えていく。

【五〇〇円】



# 洗 心

洗心婦人会発行  
会報 第5号

今号では、昨年夏に開催した一日研修会、秋の一日研修旅行などの活動報告を中心にお伝えいたします。

●一日研修会 開催日 平成25年7月13日

「内容」午前中は前住職の御法話、午後からは八女の黒木町より「念仏一座」をお呼びし、親鸞聖人の御一生をプロジェクトクターに映した音楽紙芝居にて楽しみました。最後には皆で歌を歌ったりと、盛況のうちに終了しました。

午前中は前住職の御法話。ゆつくりと前住職のお話を聴くのは初めての方も多く、皆さん静かに聴き入っていました。



## 当日の感想より

●前住職の法話「信は力なり」大変良い教示になりました。これから時々ご法話を聞かせてもらい自分を反省しながら心を改め生きていこうと思います。●私どものその日暮らしの中で気付かないことを、本日の法話でいろいろ教えて頂き有難く思いました。●祖父が自分の幼き時お念仏をいたる所でしていた事を思い出しました。そのお蔭で手を合わせる事が出来たのは祖父に感謝しています。●音楽が入った紙芝居、親鸞様の生き方など分かり易く感動しました。法話だけでなくこのような機会に出会えたらと思います。●紙芝居素晴らしかった！語り草・音色・歌声、耳の奥底まで残っています。●念仏一座のご住職、歌も話も上手でした。皆で声を合わせて歌うのもいいですね。

念仏一座の紙芝居はプロジェクターを使用されるので画面も大きくて見易く、落ち着いて楽しむことができました。今後もいろんな企画を予定しています。今年は昨年と同じ7月に、真宗について学ぶ『真宗入門講座』という講座を開く予定です。



● 婦人會主催の敬老會

開催日 平成25年10月28日



毎年恒例の敬老會ですが、婦人會の方が手作りでプレゼントをしている事はなかなか知られていないかもしれせん。昨年と今年はずり紙で小箱（写真有り→）を作りました。今後も続けていきたい取り組みです。何かアイデアや活かせる技術をお持ちの方はぜひお知らせください。

● 一日研修旅行

開催日 平成25年10月28日

昨年秋に開催した一日研修旅行では、坊守の従弟が住職を務めるお寺に訪問いたしました。寺院訪問の後は那珂川を見ながらお食事、明太子工場の見学、佐賀城の見学などの行程でした。お天気にも恵まれ、よき法縁をいただいたと皆様喜ばれていました。



梅の木の間が珍しい本堂でした。



● ご正忌訪問

今年の一月二十日、婦人會三役と住職夫婦で、坊守の実家、福岡県広川町の願正寺さんのご正忌報恩講にお参りいたしました。おときのメニューやお飾りも正法寺とはいろいろと違っており、皆さんあちこちと珍しく見学しました。ご法話は、お馴染みの島村先生でした。また来年も訪れたいと思います。



洗心婦人會から『洗心會』へ改名

一月に行われた婦人會初會において婦人會の名称が正法寺女性部『洗心會』に変更が決定いたしました。昨今の社会状況において「婦人會」という名称が古くなりつつある事を考慮しての改名になります。次回の新聞より名称を変更いたしますのでよろしお願い致します。

ふほうむりようむへんこう むげむたいこうえんのう

普放無量無辺光 無碍無对光 炎王

しょうじょうかんぎちえんこう ふだんなんしむしょうこう

清浄歎喜智慧光 不断難思無称光

ちようじちがくしょうじょうじんせ いつぎんじんじょうむしょう

超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

住職が語る... 正信偈を知ろう! 第5回



難思光・⑪無称光・⑫超日月光の十二種です。今回はこの中の最初の五つについてお話をいたします。

ここは阿弥陀如来の働きを十二種の光にたとえてあらわしているところとす。光とは如来の智慧と慈悲の徳を表しているもので、その智慧と慈悲の光は我々の煩惱の闇を破り照らして下さっています。「あらゆるものを救いたい」と阿弥陀如来は願われるわけですが、阿弥陀の光は様々な徳を以て、塵のように無数に散らばっているあらゆる存在を照らしているとうことが語られているわけです。その光は、①無量光・②無辺光・③無碍光・④無对光・⑤光炎王光・⑥清浄光・⑦歎喜光・⑧智慧光・⑨不断光・⑩

①無量光 はかることの出来ない光、つまり限らない光ということとす。あの太陽でさえも五十五億年後にはエネルギーが尽きて消滅してしまいます。しかし、あらゆるものを救うためにはそのような限界があつては不可能ということでしょう。過去・現在・未来のあらゆる存在を照らしていくには無限の光が必要であり、その慈悲の徳を讃えているのが無量光という呼び名ではないでしょうか。  
②無辺光 辺は「ほとり」とも読みますね。川の辺といえば水際のことを指します。つまり際がない、果てがないということとす。あらゆる世界に行き渡る光という意味です。世界のどこにいても阿弥陀如来が見守ってくれているということとす。  
③無碍光 碍は「さわり」ということとす。何もものにも遮ることのできない無碍の光とす。遮るものというとは外側のものばかり思ひ浮かべるのではないのでしょうか。ですが障害となるものは我々の内にあります。欲や怒りや嫉みなどの煩惱です。そういった人間の煩惱もさわりにはならない、つまり人間の善悪を問わない、救いに条件をつけない大悲の徳をあらわす呼び名だと思いません。

④無对光 文字通り対比することのできないすぐれた光です。そのすぐれた光は、煩惱にとらわれて自分自身を苦しめる心を除くと聖人は仰います。

⑤光炎王光 迷いを焼き尽くすぐれた光です。私たちの欲望、怒り、無知がつくりだす迷いの世界。その迷いの闇を照らし出す光だと聖人は仰います。

さて、ここまで五つの光を見てまいりました。これらの光はいつでもどこでも、また相手に条件を付けずにどんな人でも救いたいと願われた如来の慈悲の心をあらわしたものでしょう。目先の損得にとらわれ、自分の思いを満たしてくれるものだけを善きものとして、そうでないものは排していく。その心に捕らわれて逆に苦しんでいくのが我々です。そんな我々を常に見守つて、煩惱の闇に迷う姿を照らし出してくださる存在が阿弥陀如来なのです。

この後の光については次号に掲載いたします。感想等ありましたら、正法寺までハガキや封書などでお聞かせ下さい！



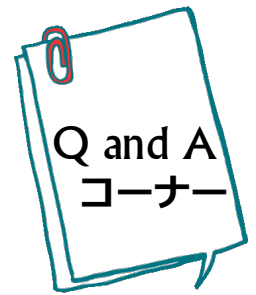


におちいった事がありました。空気はどんより、行く先も見えない・・・このままではいけないと思った私はなぜか「もうッ！叩きたくなったら踊りなさいッ！」と言いました。そしたらその突拍子のない意見を聞いた息子達が大笑い。一人でキャッキャッと踊り始めたのです。子供も思い通りにはいかない「自分」をかかえる一人の人間。もちろん私も。いつでも踊りで解決するという訳ではないでしょうが、空気を変える機転も大事だと思っただけでした。今でも叩こうとする事もあります。踊りまします！」と言って踊る事もある息子達です。



現在6歳4歳の男子を子育て中の坊守が書く「ぶつ仏子育て記」。お寺で子育ての視点を中心に、お届けします。

反抗期？の次男がお兄ちゃんを叩くことを止めず、叱る私もイライラを止められない、という悪循環



Q 除夜の鐘突きはありますか？

A はい、あります。毎年多くの方がおみえになります。どなたでも参加いただけます。本堂では修正会（新年のお勤め）も勤まっております。そちらにもご参加下さい。（写真は平成25年12月31日の様子）



◇編集後記◇

ご感想をお待ちしています。ハガキや封書にて「正法寺坊守宛」にご送付下さい。

今後の参考にさせていただきます。「編集坊守」

■お寺の行事予定（H26.2月～5月）

2月

10～11  
春の親鸞講座

3月

18～22  
春季彼岸会

4月

25～28  
春の永代経法要

5月

18 婦人会春の法要  
・初参り式  
・子供花まつり

ほんのちょっとしたスペースにも  
ご本尊はお飾りできます！！



お仏壇（お内仏）は本家のみには置かれる場合が多いですが、『三つ折り本尊』という簡易な形式のご本尊もございます。写真は、ご主人を亡くされた方が、息子さんのお家にもご本尊を、と願い贈られた例です。詳しいことはお寺の方にお尋ねください。